

北小ものがたり

竜王北小学校
研究通信 &
学校だより



令和2年1月31日



2020年、オリンピックイヤーの1月が、あっという間に過ぎ去っていったような気がします。振り返ると、インフルエンザによる学級閉鎖や、降雪による始業遅延がありました。また、日々の授業の他に、スキーやスケートなどの校外学習、ゲストをお招きしての学習もあり、まさに盛りだくさんの1月でした。



子ども達は、学年のまとめの時期にふさわしい頑張りを見せてくれています。以前、休み時間になわとびに励んでいる様子を本校ホームページに載せましたが、今月は、学級ごとに長なわとびにチャレンジしました。24日の体育広場の時間を記録会としたのですが、学級で決めた目標をクリアして喜ぶ子ども達の姿がキラキラ輝いて見えました。

PTA 活動へのご協力に感謝いたします

ご案内のとおり、2月はPTA活動のまとめの時期になるため、授業参観・学年PTA総会が、3週間に渡って行われます。さらに、4日は来入児の保護者説明会があり、竜王北中学校の説明会も7日に実施されます。ご多用のところ、何度も何度も足を運んでいただくこともあろうかと思えます。PTA本会役員の皆様におかれましては、25日の企画運営委員会、3月2日の現新企画委員会と、更なるご負担をお願いしております。本当に申し訳なく思うとともに、ご協力に深く感謝申し上げます。

今月の詩

1月の詩は、阪田寛夫さんの「いろはに つねこさん」でした。

阪田さんは、大阪生まれの昭和の時代に活躍した詩人・小説家・児童文学作家です。「サッチャン」や「おなかのへるうた」など、童謡の作詞者としても有名です。

この詩は、『いろはうた』を題材にした、面白い作品です。リズム感があって、楽しく口ずさめたのではないかと思います。

ところで、元々の『いろは歌』というのは、よく考えられたすばらしいものですね。重複する仮名が無く、47音でできているのです。漢字と仮名で表すとこうなるそうです。

色は匂へど 散りぬるを
我が世誰ぞ 常ならむ
有為の奥山 今日越えて
浅き夢見じ 酔ひもせず
いろいろな解釈があるようですので、意味を調べてみていただくと思います。

いろはうた

いろはにほへど ちりぬるを
わかよたれそ つねならむ
うみのおくやま けふこえて
あさきゆめみし ゑひもせす
ん

一月の詩
いろはに つねこさん
阪田寛夫

きとゆあお うなよちいろ
よんめさくお らだりほ
うでにきやくののれちは
もでみひるまのむたれぬへ
ねもしひるまこえのちそぬ
んせみきててのちゃんなる
ねすしよるがぶつうなら
こゑおよけどうさねをほ
つひおるがぶつうならよ
ねもせしん
ごせすん

(文責：校長 廣瀬)